



平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月10日

上場取引所 東

上場会社名 タビオ 株式会社

コード番号 2668 URL <http://www.tabio.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 越智 勝寛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長

(氏名) 谷川 繁

TEL 06-6632-1200

四半期報告書提出予定日 平成26年10月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第2四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	7,802	7.1	250	144.6	267	113.9	135	171.4
26年2月期第2四半期	7,285	6.4	102	△7.8	124	1.3	49	178.8

(注) 包括利益 27年2月期第2四半期 125百万円 (73.1%) 26年2月期第2四半期 72百万円 (341.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第2四半期	19.83	—
26年2月期第2四半期	7.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	7,900	67.4	5,328	66.4		
26年2月期	8,141	66.4	5,407	66.4		

(参考) 自己資本 27年2月期第2四半期 5,328百万円 26年2月期 5,407百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	30.00	30.00
27年2月期	—	0.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,866	6.4	635	16.9	657	11.8	304	△0.2	44.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年2月期2Q	6,813,880 株	26年2月期	6,813,880 株
② 期末自己株式数	27年2月期2Q	1,826 株	26年2月期	1,779 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年2月期2Q	6,812,091 株	26年2月期2Q	6,812,101 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成26年3月1日～平成26年8月31日)における国内経済におきましては、製造業を中心とする企業収益の改善とそれに伴う雇用環境や個人所得の改善により、消費増税後の消費者心理に持ち直しの傾向が見られたものの、天候不順や物価の高騰、消費増税に対する生活防衛意識の高まりから、実際の個人消費は勢いを欠いており、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

国内衣料品販売におきましては、消費増税後は初夏の好天に恵まれ、季節商品をタイムリーに展開した一部の専門店では堅調な動きも見られましたが、相次ぐ台風の到来や局地的な大雨、消費増税に伴う個人消費の低迷などにより、回復への足取りに重さを感じられる中、多様化する顧客ニーズに合致した対応力が求められております。

このような状況の中で当グループは、店頭から生産現場までを結んだ情報システム網を活用し、製造・販売を一体化した自己完結型の国内生産体制の強みを生かしながら、多様に変化する顧客ニーズに、機敏かつ柔軟に対応できるように尽力して参りました。

当第2四半期連結累計期間における業績につきましては、百貨店・専門店が足元のカジュアル化に対応したスニーカーやスリッポンなどの品揃えを強化してきた中、コーディネート提案としてカラーソックスが取り上げられるなど、例年になく靴下に関する話題が多く上がるシーズンとなり、春夏物商品が好調に動きました。また店頭を起点に置いた運営体制を推し進め、季節感やトレンドを打ち出しながら、ベーシック商品とトレンド商品をバランスよく展開することができたこと等により、消費増税や天候不順の影響は限定的な範囲に留まり、売上高は好調に推移しました。

当グループの主力部門である「靴下屋関連部門」では、有力ファッションブランドの動向に変化が見られる中、従来の店舗イメージからの脱却を目指し、洗練された店舗イメージでの出店・リニューアルを進めていくと共に、複合展開を推し進め、レディース、メンズ、キッズ商品のトータル提案を行うことにより、お客様の認知度向上とご満足してお買い物頂ける店舗の実現に尽力して参りました。

「ショセツ関連部門」における「ショセツ事業」では、好立地でハイセンスな商業施設での展開を強化していくことにより、『タビオ』ブランドの浸透に尽力して参りました。また、『靴下屋』との差別化を図ったブランド政策として既存商品の企画を刷新すると共に、エレガンスやセクシーさを兼ね備え、デザインや品質にこだわったラグジュアリーな商品ブランド「タビオ リュクス」の販売を8月より開始致しました。また、「紳士靴下事業」では、カジュアル商品のラインナップを充実させ、顧客ニーズに素直にお応えしていくと共に、大都市での基幹店舗の出店と既存店舗の強化を行うことにより、メンズ市場の開拓に向けた取り組みに尽力致しました。

海外展開におきましては、タビオ・ヨーロッパ、タビオ・フランスでの事業基盤の安定化に尽力すると共に、東アジア地域を中心としたマーケットリサーチを行い、今後の販売機会の獲得に向けた取り組みを継続して参りました。

出退店状況におきましては、フランチャイズチェーン店3店舗、直営店9店舗の新規出店と、フランチャイズチェーン店5店舗、直営店7店舗の退店により、当第2四半期連結累計期間末における店舗数は、フランチャイズチェーン店124店舗、直営店172店舗(海外子会社の5店舗を含む)、合計296店舗となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は7,802百万円(前年同期比7.1%増)、営業利益は250百万円(前年同期比144.6%増)、経常利益は267百万円(前年同期比113.9%増)、四半期純利益は135百万円(前年同期比171.4%増)となりました。

なお、当グループの売上高は、取扱い商品が防寒という機能を持つ靴下のため、上半期(3月～8月)に比べ下半期(9月～2月)に販売される割合が大きくなっております。従いまして連結会計年度の上半期の売上高と下半期の売上高との間には著しい相違があり、上半期と下半期の業績に季節の変動があります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、受取手形及び売掛金が251百万円、建物及び構築物が94百万円増加しましたが、現金及び預金で606百万円の減少があったこと等により、前連結会計年度末と比べて240百万円減少し、7,900百万円となりました。

負債については、流動負債その他が119百万円増加しましたが、買掛金が231百万円、未払法人税等が52百万円の減少があったこと等により、前連結会計年度末と比べて161百万円減少し、2,572百万円となりました。

純資産については、利益剰余金の減少等により、前連結会計年度末と比べて79百万円減少し、5,328百万円となりました。

その結果、自己資本比率は前連結会計年度末の66.4%から67.4%に増加しました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べて606百万円減少し、1,500百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益で244百万円、減価償却費が243百万円ありましたが、売上債権の増加額で251百万円、仕入債務の減少額で231百万円があったこと等により、3百万円(前年同期より234百万円の増加)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出が280百万円、その他の支出で52百万円あったこと等により、△343百万円(前年同期より87百万円の減少)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額で203百万円、長期借入金の返済による支出で58百万円あったこと等により、△263百万円(前年同期より74百万円減少)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年4月10日付の「平成26年2月期 決算短信」において公表いたしました平成27年2月期の業績予想を修正しております。詳細については、平成26年10月3日に公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,106,541	1,500,411
受取手形及び売掛金	738,749	990,153
商品	585,402	575,019
貯蔵品	499	506
その他	243,269	262,908
貸倒引当金	△8,100	△8,488
流動資産合計	3,666,362	3,320,512
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,157,424	1,252,294
土地	1,182,014	1,182,014
その他(純額)	347,035	419,095
有形固定資産合計	2,686,475	2,853,404
無形固定資産	505,399	406,580
投資その他の資産		
差入保証金	1,232,498	1,280,395
その他	52,194	41,497
貸倒引当金	△1,635	△1,674
投資その他の資産合計	1,283,057	1,320,218
固定資産合計	4,474,932	4,580,203
資産合計	8,141,294	7,900,715
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,391,019	1,159,232
短期借入金	118,286	96,868
未払法人税等	171,730	118,813
賞与引当金	124,472	185,646
その他	568,359	687,571
流動負債合計	2,373,868	2,248,132
固定負債		
長期借入金	36,892	-
退職給付引当金	59,401	46,617
資産除去債務	130,623	144,168
その他	133,070	133,619
固定負債合計	359,987	324,406
負債合計	2,733,856	2,572,538

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	414,789	414,789
資本剰余金	92,424	92,424
利益剰余金	4,900,991	4,831,682
自己株式	△952	△1,000
株主資本合計	5,407,251	5,337,895
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	186	△9,717
その他の包括利益累計額合計	186	△9,717
純資産合計	5,407,438	5,328,177
負債純資産合計	8,141,294	7,900,715

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
売上高	7,285,674	7,802,752
売上原価	3,234,596	3,461,678
売上総利益	4,051,078	4,341,073
販売費及び一般管理費	3,948,522	4,090,262
営業利益	102,556	250,810
営業外収益		
受取利息	566	1,682
仕入割引	5,296	5,495
為替差益	6,042	-
受取手数料	4,572	8,083
その他	10,755	4,729
営業外収益合計	27,233	19,990
営業外費用		
支払利息	3,374	2,860
為替差損	-	617
その他	1,559	313
営業外費用合計	4,933	3,791
経常利益	124,855	267,010
特別損失		
固定資産除却損	10,915	14,411
賃貸借契約解約損	1,081	-
減損損失	5,866	8,529
特別損失合計	17,864	22,941
税金等調整前四半期純利益	106,991	244,069
法人税、住民税及び事業税	38,225	107,196
法人税等調整額	19,007	1,819
法人税等合計	57,232	109,015
少数株主損益調整前四半期純利益	49,759	135,053
四半期純利益	49,759	135,053

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	49,759	135,053
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	22,531	△9,904
その他の包括利益合計	22,531	△9,904
四半期包括利益	72,290	125,149
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	72,290	125,149
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	106,991	244,069
減価償却費	239,346	243,735
のれん償却額	1,533	1,713
減損損失	5,866	8,529
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△950	427
賞与引当金の増減額(△は減少)	6,136	61,173
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△16,836	△12,783
受取利息及び受取配当金	△566	△1,682
支払利息	3,374	2,860
固定資産除却損	10,915	14,411
売上債権の増減額(△は増加)	△119,337	△251,538
たな卸資産の増減額(△は増加)	11,769	9,841
仕入債務の増減額(△は減少)	△326,892	△231,332
その他の資産の増減額(△は増加)	△13,442	△13,290
その他の負債の増減額(△は減少)	47,713	13,883
未払消費税等の増減額(△は減少)	14,733	76,172
小計	△29,644	166,190
利息及び配当金の受取額	564	1,361
利息の支払額	△3,897	△2,928
法人税等の支払額	△198,468	△161,264
営業活動によるキャッシュ・フロー	△231,445	3,358
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△199,976	△280,948
有形固定資産の除却による支出	△10,538	△10,849
無形固定資産の取得による支出	△18,659	△7,635
貸付けによる支出	△15,810	△500
貸付金の回収による収入	15,264	526
その他の支出	△32,983	△52,110
その他の収入	6,577	7,617
投資活動によるキャッシュ・フロー	△256,127	△343,901
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	100,002	-
長期借入金の返済による支出	△58,310	△58,310
自己株式の取得による支出	-	△47
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△25,465	△1,097
配当金の支払額	△204,499	△203,649
財務活動によるキャッシュ・フロー	△188,272	△263,104
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,597	△2,482
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△670,248	△606,129
現金及び現金同等物の期首残高	2,219,242	2,106,541
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,548,994	1,500,411

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当グループは、靴下に関する事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。